

恩 信仰所 (1 / 4) : 信仰の 成要素

:

明:
イスラ ムにおける内的信仰と善行との 性とは。第一部: イスラ ムにおける「信仰」の概念、及び内的な信念と善行との 性について。

目: [事崇 行 とその 実践の五ヶ条」とその他の崇 行](#)

より: J. ハ シミ (2011 IslamReligion.com)

日 05 Dec 2011

集日 11 Sep 2016

序



イスラ ムは、内面的なものである「信念」と共に、外面的なものである「行」にも重要性を置く宗教です。ムスリムであることは、ただ に 礼的な崇 行 を行なうことでも、自らの行 を伴わない形で心の中に特定の信仰を留めておくだけでもありません。一部では、イスラ ムが内的信仰よりも行 そのものに重きを置くと 解されていますが、 には内的信仰が第一であり、それはイスラ ムの根本である「五柱」における最重要 目にあたるものなのです。イスラ ム的 点としては、内的信仰と外的行 は共にイスラ ムにおける「信仰」として 成されるものであるとします。

イスラームでは、救は神の容さによるものであるとされ、その救と容が与えられるのは、内的な信念に加え、善行を行う者たちであるとされます。したがって、キリスト教とイスラームとの違いは、一方が内的信仰を重要とし、もう一方がそれを軽視するというものではありません。事実、キリスト教とイスラームは共に内的信仰が救を得るために最も不可欠な要素であるとしています。相違点として、イスラームでは信仰が最も重要な要素であるだけでなく、救を得るには内的信仰が善行によって伴われなければならないとしています。この考えでは、まずイスラーム的視点とし、次にキリスト教の教義である「信仰（信仰のみを重要とするスタンス）」に対する批判的考察を行いません。

信仰の構成要素

イスラームでは、行いは信仰から分かれる枝の一つであるとされます。信仰（イマーン）は内的な信念であるとは定まされず、内的信念と行い（アマル）との集合体であるとされます。つまり、信仰と行いは体を同じくするものであり、お互いを成し合う要素であるのです。それゆえ「信仰vs.行い」の議論は、前者が前者を成する一部であるため、イスラームにおいては意図を持ちません。以下のように、ムスリムは信仰（イマーン）が三つの要素によって成されていると信じます：

- (1) 信念（イアティカド）
- (2) 舌による言（カウル）
- (3) 行い（アマル）

信念

これら三つの信仰要素のうち、信念は最も重要なものとなされます。それゆえ、この点からも、イスラームが外的な行いを内的信仰よりも重要とするという主張は誤ったものです。正しい内的信仰を伴わない行いを神が許めることはありません。神はこのように述べ

